

【市長】

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、お元気で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は、私が市長に就任して臨む最初の年となります。

先人達の英知と努力で築かれてきた苦小牧に、どのような未来をつなげていくかが問われる大切なこの時期に、市政運営の舵取りを託されましたことを深く受け止め、改めてこの役目を全力で果たしていく決意でございます。

報道機関の皆さまには、本年も、報道を通じた応援、ご支援をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

さて、年頭にあたりまして、市政運営に向けた想いの一端を申し述べたいと思います。

私は、今回の市長選挙に臨むに当たり、「のびゆく苦小牧！選ばれるまち苦小牧！」をスローガンとし、7つのビジョンを掲げておりますが、人口減少と少子高齢化が同時進行する中、地域社会の担い手不足や不登校・いじめの問題、さらには、物価高騰による市民生活への影響など、私たちを取り巻く環境は困難な時代を迎えております。

こうした時代背景の中、本市では、最大の課題である人口減少対策として、新年度に向けて「第3期苦小牧市人口ビジョン及び総合戦略」を策定しております。

大きな希望を抱きながら、チャレンジを続けることで、本市はまだまだ成長の可能性を秘めたまちであると考えており、その効果が最大となる取組を掲げ、それらを着実に実施してまいります。

とりわけ、全国的に出生数の低下、子どもの人数の減少が続いており、少子化の流れは加速している状態にあります。

本市においても、令和4年には出生数が1,000人を切り959人、令和5年には897人、令和6年11月末現在707人となっており、あらゆる子育て支援策を模索し、この流れを食い止めなければいけません。

全ての子ども・子育てを社会全体で支援するため、その柱となる、「第3期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」を新年度に向けて策定しております。

子どもは、社会の希望であり、未来への力であります。

「子どもど真ん中のまち苫小牧」の実現に向けて、子育て世帯を取り巻く状況やニーズを踏まえ、時代の要請に応じた総合的な子育て関連施策を推進してまいります。

本市は、これまで物価高騰に直面し困難を抱える市民や事業者の皆さまに対しまして、臨時交付金等を活用し、様々な対策を行ってまいりましたが、物価高騰の影響は大きく、市民や事業者を取り巻く環境は未だに困難な状況が続いております。

昨年11月、国において「重点支援地方交付金の追加」が示されたことを受けまして、低所得者世帯・子育て世帯に対する生活者支援や市内中小企業に対する事業者支援など、この交付金を活用した物価高騰対策を速やかに実施し、長く物価高騰で苦しんでいる市民の暮らしを支えてまいります。

様々な社会課題を抱える一方で、本市を取り巻く明るいニュースも多くあります。

苫小牧駅前の再整備については、地権者との協議が難航していましたが、岩倉市長が決死の思いで道筋をつけ、10年の時を経て、大きな一歩を踏み出すことができました。

今後、ダブルポートシティの特性を生かした成長戦略を実現するため、民間の力を借りながら、苫小牧駅前の再整備をスピード感を持って進めてまいります。

2月には、第25回オリンピック冬季競技大会の女子アイスホッケー

一最終予選が本市で開催され、アイスホッケー女子日本代表「スマイルジャパン」が出場いたします。

「氷都とまこまい」から多くの選手が選出されておりますことから、選手たちの活躍を願うとともに、全国初のスポーツ都市宣言のまちとして最終予選を盛り上げていきたいと考えております。

市民の皆さまには、ぜひ会場に足を運び、熱い声援をお送り頂きたいと思っております。

4月には、ラピダス株式会社の半導体製造工場試作ラインの稼働が予定されており、ソフトバンク株式会社の大規模データセンター建設についても、2026年度開業に向けて着々と準備が進められております。

今後、このことを契機に、多くの半導体関連企業が集積し、それを利用するデジタル関連産業の創出のほか、人材育成にもつながるものと期待しているところであります。

この好機を逃すことなく、ものづくり産業なども含め、積極的にトップセールスを行うことで、可能性のある企業を呼び込み、経済の活性化に尽力してまいります。

最後になりますが、困難な課題が山積する中で、苫小牧市を発展させていくためには、一人の力では決して成しえることはできないと考えております。

市民、企業、団体、行政、そして市議会が「総活躍」する中で、アイデアを出し合い、持てる力を最大限発揮することにより、新しい苫小牧の道筋を描いていけると信じておりますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

明るい話題の多い年になることを祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

今年も1年間どうぞよろしくお願いいたします。